

会議名 第50回ニセコ町観光戦略会議

開催日	平成27年9月30日(水)	会議時間	開会 PM 6:30 閉会 PM 9:00
会議場所	ニセコ町役場 第二会議室	記録者	商工観光課観光戦略推進係 係長 齊藤 徹
出席者	委員：渡辺委員（座長）、今野委員、片岡委員 事務局：前原商工観光課長、齊藤観光戦略推進係長、馬淵観光圏推進係長		
欠席者	委員：梅津委員、吉村委員、木下委員、櫻井委員、小関委員、チャール委員、大久保委員、服部委員、宮崎委員		

【主な内容】**◇戦略会議提案の意見交換会について**

(事務局)

意見交換会の開催の提案があったが、交流会的なものなのか、パブリックのものなのか、また参集範囲などを決めてもらいたい。戦略会議もしくはニセコ町で主催となるとパブリックなものとなるし、そうすると観光圏などのテーブルがすでに用意されている。参集相手にも開催の目的が問われる。

(委員) 参集範囲は観光圏の範囲でいいのではないか。

(委員) 顔見知り程度の事業者が多いので、今後次につなげていくためのきっかけになればよく、固いものではないと思われる。最初は交流会のようなイメージでいいのではないか。

(事務局) それであれば、役場で取りまとめるものでない方がいいのでは。

(座長) たとえば提案者である大久保委員が中心となって取りまとめた懇親会などに、事務局も呼ぶような形がいいのでは。

(委員) 賛成。(事務局了解)

◇戦略会議の提案事業、検討事項**《ニセコマラソンについて》**

(委員) ニセコマラソンを観光につなげられないか。あれだけの人数をそのまま返してしまふのはやはりもったいない。

(委員) 現在は、競技(記録)中心となっていて、走ってジャガイモもらってすぐ帰ってしまっている。

(委員) 以前は、ジャガイモばんば等もあって結構人が残った。

(委員) テント村が下なのもわかりづらい。

(事務局) 役場スタッフは、マラソン側の準備や後片付けで、イベントなどに回る手はない。商工事業者などをもっと巻き込んでやらなければならない。

(委員) スポーツイベントについてはパイプやノウハウを活用できる。

(座長) 今野委員を中心に委員でワーキングし、次回までに具体的なスキームを提示し、不足分は補助金などの予算化を検討する。

《既存のスポーツ施設(スケートパーク)を利用したサマースクールツアー》

(座長) 東京オリンピックでもローラースポーツが提案されており、既存の施設もある。

(委員) 名のあるコーチによるコーチングは、子供たちの成長にも影響が大きい。

(事務局) スポーツがらみのサマーキャンプなどは、日ハムも活用(連携は来年4月いっぱい)するといひ。

(座長) ニセコマラソン同様、今野委員を中心に委員でワーキングし、次回までに具体的なスキームを提示し、不足分は補助金などの予算化を検討する。

《ニセコ土産について》

(座長) ニセコ土産についても観光協会中心に検討してもらいたい。

(事務局) 現在、報告を受けているのは、ピンバッジとステッカーをNマークを活用したデザインで見積中とのこと。また、先般、観光協会において日本手ぬぐいを制作・販売を開始しており、色は日本の伝統色を使用したもの(「京紫」と「藍色」)。現在、ビュープラザで販売を開始しており、ホテルなどに卸販売を行っているので、ぜひ活用いただきたい。

◇次回日程(予定)

平成27年10月21日(水) 予定